景観配慮協議申出書

		6年2月 ² 6日					
((宛先) 鎌倉市長						
		住 所(S·K)					
		油山有 以 石					
	/鎌倉	市役所 電 話 東京都武蔵野市中町2-7-16					
	令和 - 6.	2.26 受付 住 所 ラクセリア武蔵野中町201					
		一38) 号 代理人 氏 名 株式会社 葵建築工房 一級建築士事務所 森川 洋光					
		電 話 0422 (38) 6955					
		(法人その他の団体にあっては、その主たる事務所の 所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。					
次	のとおり申し出						
土地の	也利用類型 名 称	旧市街地の住宅地					
景	観 地 区	☑ 内 (鎌倉景観地区・旧市街地の住宅地) □ 外					
設	住 所	東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 三井ホーム株式会社 東京南支店					
計者	氏 名	富田 俊介 電話 03 (4218) 2435					
行為	地名地番	鎌倉市 雪ノ下一丁目428番1					
の場	用途地域	第一種中高層住居専用地域 防火地域 □ 防火 ☑ 準防火 □ 指定なし					
所	その他	□ 風致地区 □ 歴史的風土保存区域 □ その他()					
行為の	建築物	☑ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 移転					
種類	開発	□ 土地の区画の変更 □ 土地の形質の変更					
特	定 地 区	□ 内(□ 由比ガ浜 □ 由比ガ浜中央 □ 鎌倉芸術館周辺地区) ☑ 外					
行	為の期間	着手予定 2024 年 5 月 13 日 完了予定 2025 年 6 月 18 日					

	用				途	一戸建ての住	宅					
	最	高	Ø	高	さ	9. 248	m	階数	ŀ	也上 2	階	地下 0 階
建	構				造	木造						
築	敷	地		fi	積	5	31. 53	m²				
物	建	築	Ī	Ti Ti	積	276. 98	m²	届出以外 の部分		0	m²	合計 276.98 m²
の	延	~	Ī	甸	積	453. 56	m²	届出以外 の部分		0	m²	合計 453.56 m ²
概			设置す 重類及			□ 高架水槽		m		□ その	の他	m
要	色彩の変更部分と その 面積								面積	m²		
	仕 上 材		 - - -	屋根		屋根:彩色スレート板コ バルコニー:高耐久塩ピ		1	彩	屋根		ークブラウン (10R/2.5/0.5) ー: ブラウン (5YR/3/1)
			外	壁	①吹付け塗装トラバー5 ②天然石 ロックフェイニ			杉	外壁	0	ーホワイト(2.8Y/8.0/1.2) g. (グレー色)	
開発	開	発 区	域の	り面	積			m²		17		
開発行為の概要	行	為	Ø	目	的	分割 (その他(区画)	(뒼		面積	m²))
概要	行	為	Ø	内	容	切土 (その他 (m³)	盛-	Ł (m³)

- (注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。 (例:日本瓦、波型スレート、小口タイル等)
 - 2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。
 - 3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴 (景観的特性、景観資源等) をつかみ、記入する。

着	В	Ų	点	計画地周辺の現況等記入欄
地	域的	り 特	徴	緑豊かな落ち着いた雰囲気を持つ戸建て住宅を基調とした低層低密で、 一部中層のゆとりある住環境と調和した魅力的な住宅地である。
ŧ 1	ち並み	の連絡	続 性	歴史的資源と調和した住宅地景観であり、 黒塀に挟まれてゆるやかな曲線を描く趣のある路地になっている。
周边	2建物0)デザ	イン	自然素材の使用や細部のきめ細やかな意匠 屋敷林や生垣、門、塀などが連続する敷き際
眺	望	景	観	鶴岡八幡宮本殿前から見渡すことができ、歴史的鎌倉の街並みを感じることが出来る。 若宮大路周辺の山並み等の自然環境や鳥居等の歴史的資源と調和したまち並みである。
景	観	資	源	鎌倉文士を代表する文化人のひとりである故・大佛次郎の本邸跡地である 本計画地及びその路地を挟んだ北側に位置する景観重要建築物である 旧大佛次郎茶亭。

2. 建築物の建築

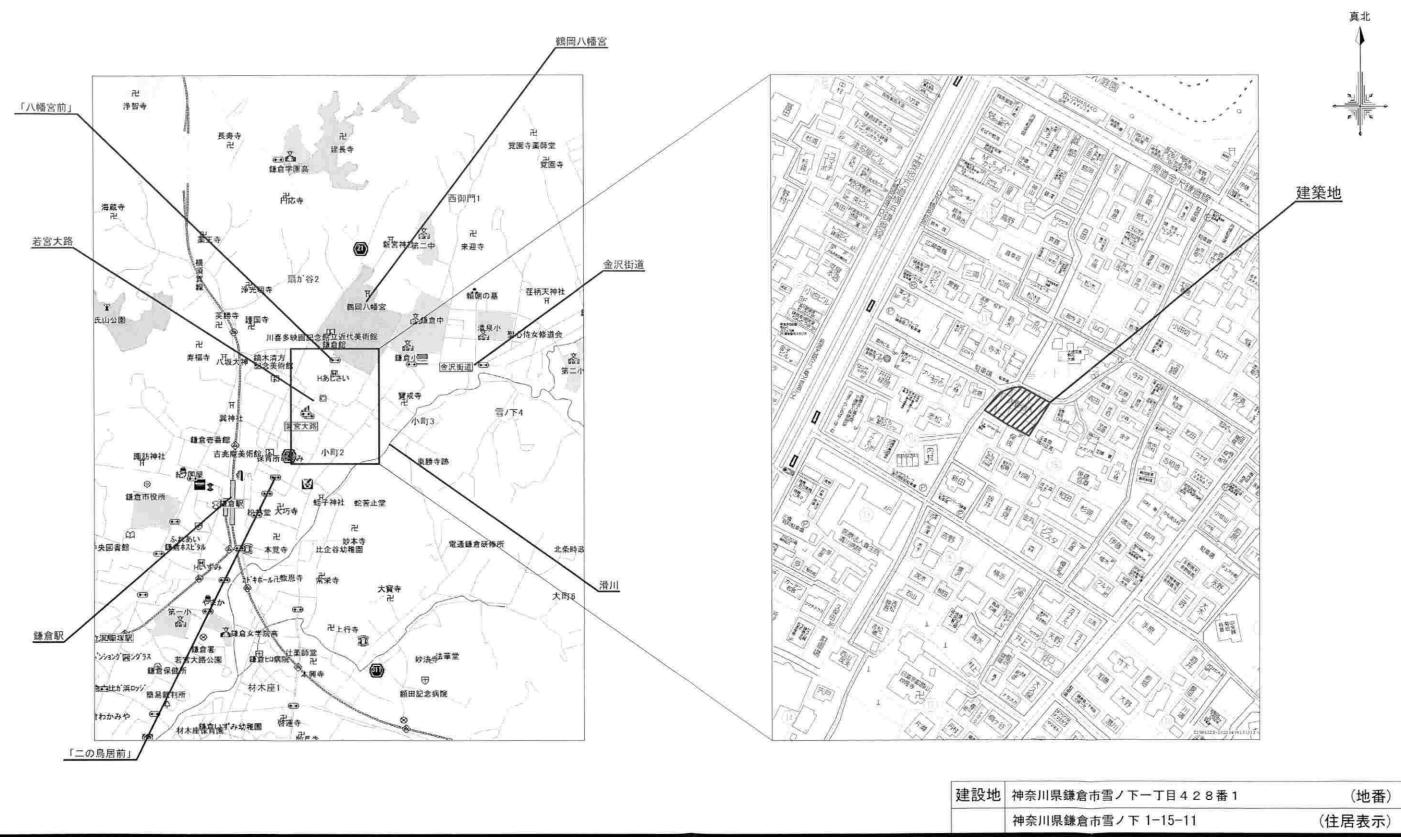
1 で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を 行い、配慮した事項を記入する。

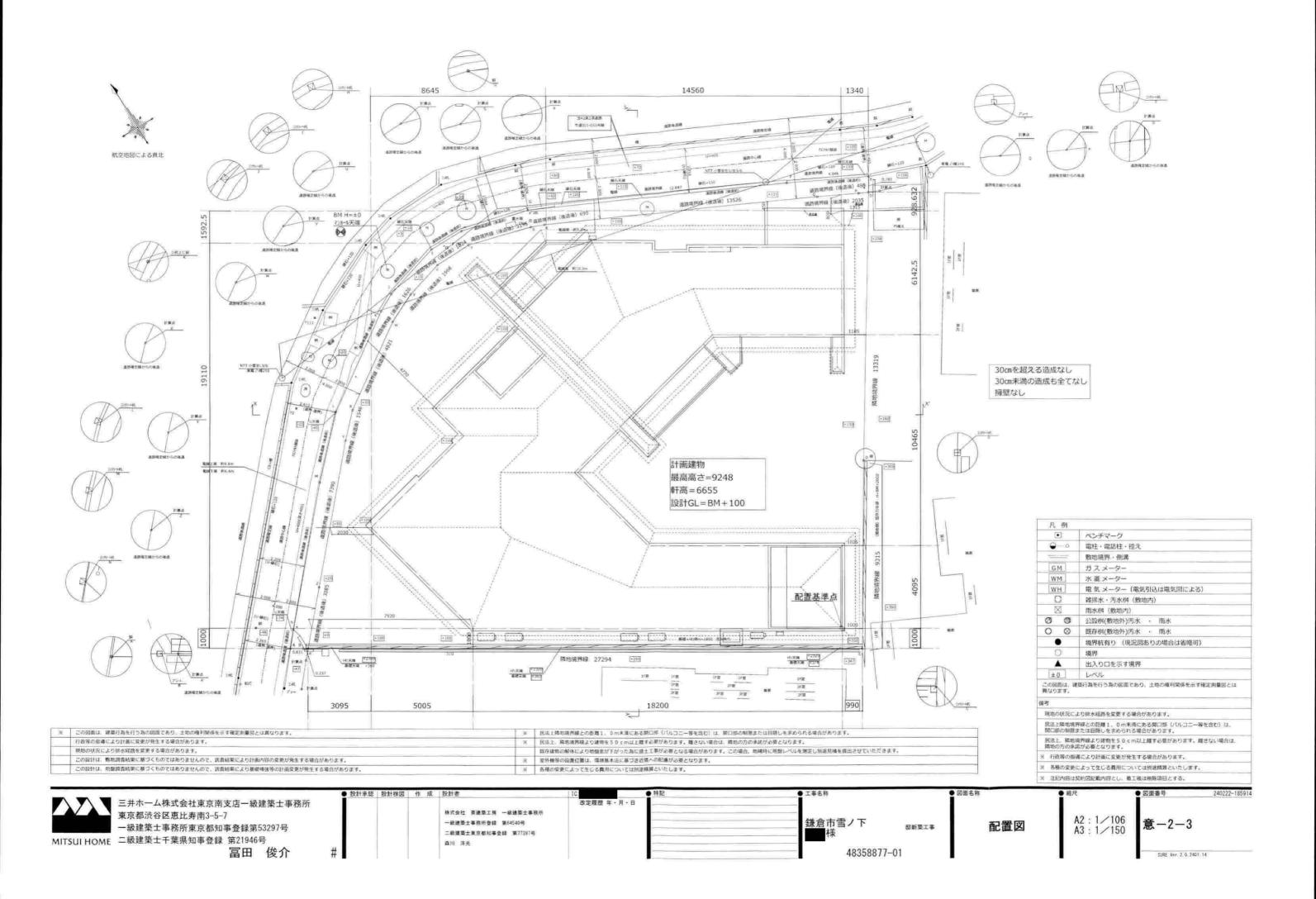
項	目	自己評価	配慮事項記入欄
配	置	0	セットバックし、路地空間にゆとりを持たせることで、 住宅地景観と調和した配置となるように工夫しました。
形態	意 匠	0	落ち着いた魅力ある戸建て住宅となるよう考慮しました。
色	彩	0	周囲の街並み、及び歴史的景観重要建築物に調和する配色となるよう 配慮しました。
建築	設備	0	建築設備は通りから目立たない配置とし、 緑化により修景することで通りから望見できないようにしました。
外構	緑化	0	周囲景観の一体化を図りながら構成しました。

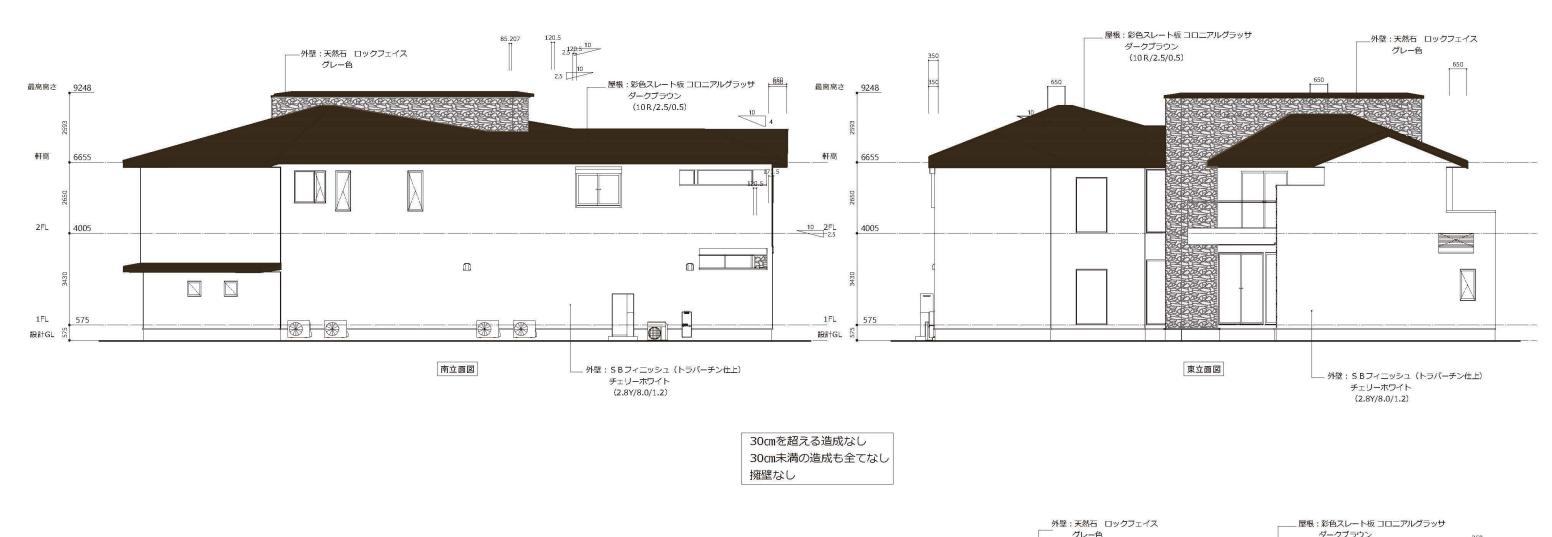
3. 開発行為

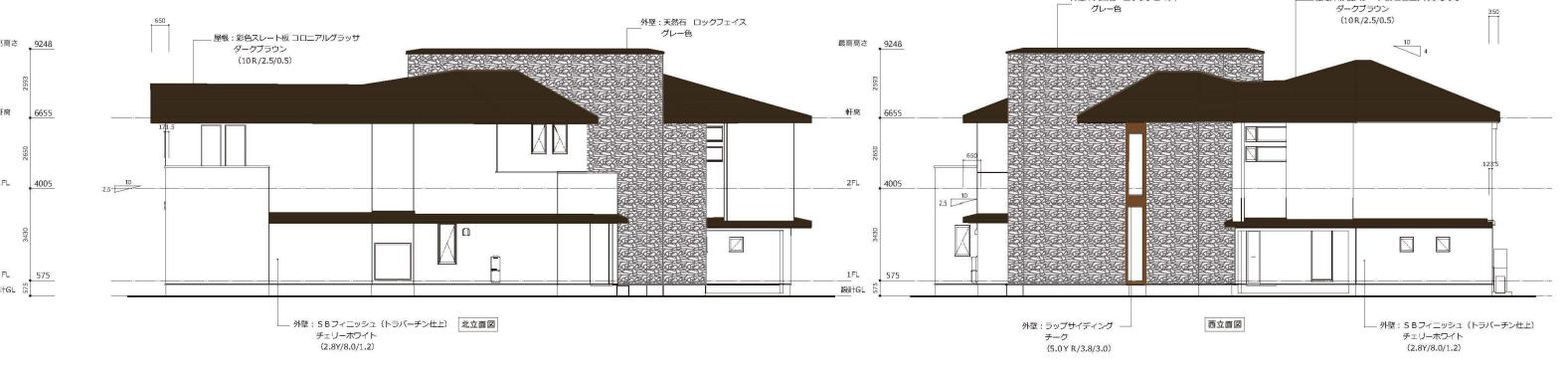
1 で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を 行い、配慮した事項を記入する。

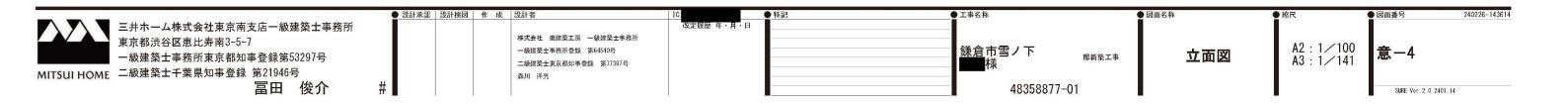
項	目	自己評価	配慮事項記入欄
造	成		
擁	壁		
敷き関	祭・緑化		



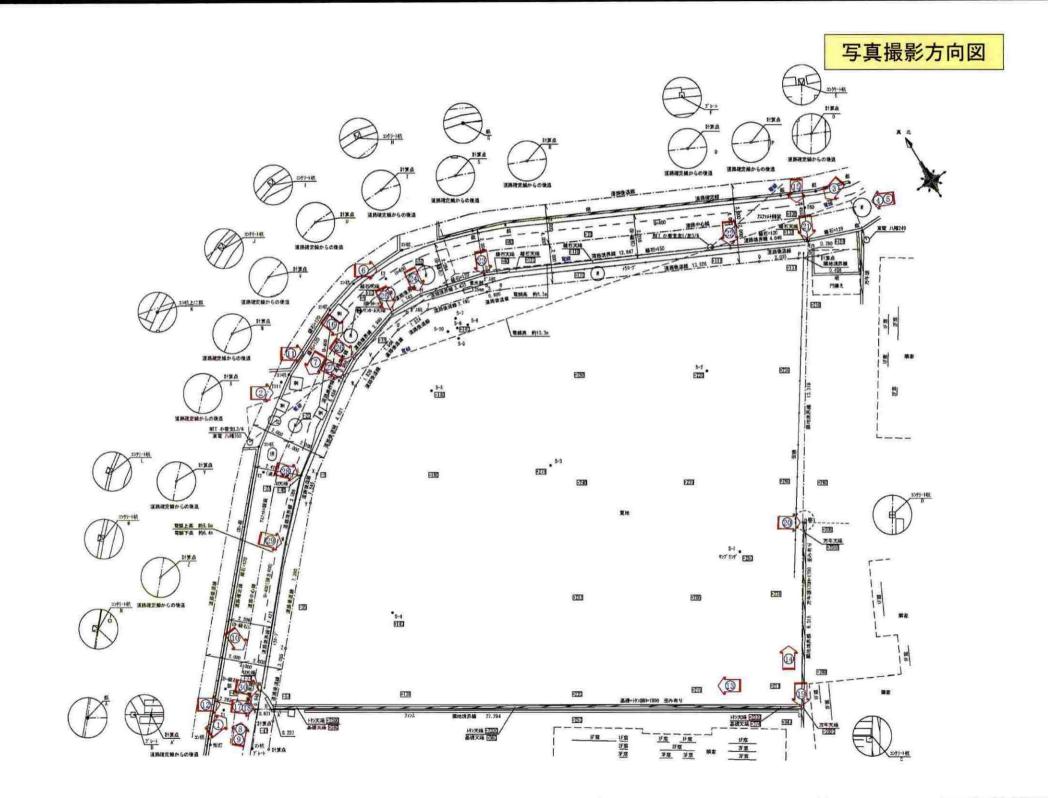








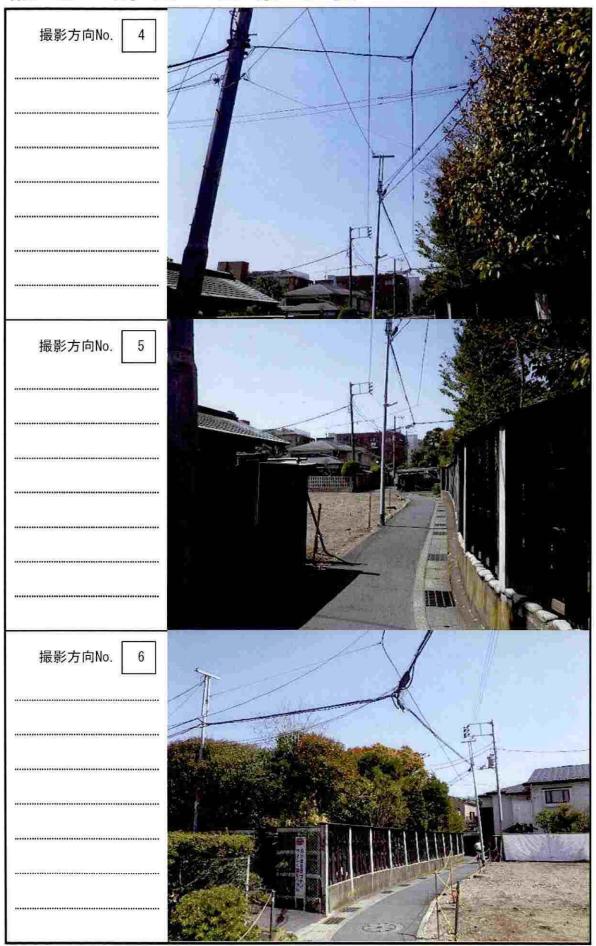




敷地 周辺 全景写真

撮影方向No. 1	
撮影方向No. 2	
撮影方向No. 3	

敷地 ・周辺 全景写真



敷地 周辺 全景写真

(9.07.1.7.1)		
撮影方向No. 7		
	//	
**************************************	D /	

	1-11	
***************************************	TO TOTAL	4 130 7
·		
(Names and American A		
) THE !! ! !!	TOP AND A STATE OF THE STATE OF	
撮影方向No. 8		

		النبعة فيصنفي
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		and the second
) ************************************		
·*************************************		
撮影方向No. 9		
:		
; <u>a</u>		
[P####################################		
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		

敷地 · 周辺 全景写真

撮影方向No. 10	

撮影方向No. 11	
撮影方向No. 12	

敷地 · 周辺 全景写真

